

社会福祉法人南山城学園が運営する

京都市の福祉施設(醍醐和光寮)が生まれ変わります。

新しい施設の名称を募集!

公募

平成22年6月
開所

地域の皆さんに愛されるような素敵な名前をつけてください。

● 募集内容

福祉施設にふさわしい、さわやかな名称を募集

● 募集点数

各施設名:2点

● 応募規定

郵送、ファックス、メールで応募。日本語に限る。

● 応募資格

どなたでも応募できます。

● 賞

最優秀賞2点=記念品贈呈(同名が複数人の場合は抽選で決定)
※高校生以下の場合には相当額の図書券になります。

● 締切

平成22年2月28日 消印有効

● 発表

法人ホームページにおいて発表

● その他

一つの応募用紙(ファックス、はがき、メール等)には右記の各施設名2点まで応募可能。お一人様何通でも応募できます。

● 諸権利

採用作品の諸権利については主催者に帰属します。

[名称募集の2つの施設]

1.障害者支援施設—自閉症対応型施設の名称

(知的障害、主に自閉症の方を支援する施設です。)

2.障害者支援施設—高齢者対応型施設の名称

(知的障害のある高齢の方を支援する施設です。)

※「和光寮」という名称を何らかの形で残した名称にして下さい。

※なお、当学園に於いてすでに使用している下記名称は除外します。

円(まどか)、和(なごみ)、魁(さきがけ)、翼、凜、煌(きらめき)



(応募先・問い合わせ先) 社会福祉法人南山城学園 新醍醐和光寮名称係

〒610-0112 京都府城陽市長池五社ヶ谷14番地1

TEL. 0774(54)7210 FAX. 0774(54)2117

詳細は法人HPをご覧ください

● <http://www.minamiyamashiro.com>

● E-mail wakou@minamiyamashiro.com

【新名称決定にあたって】

再整備・運営を行う社会福祉法人の選定機関である、「京都市醍醐和光寮再整備に関する事業実施法人選定委員会」および、現和光寮関係者の方々より、歴史があり地域や利用者の方に浸透している「和光寮」の名称を何らかの形で再整備後も引き継いでほしいという意向があります。
この意向を十分に反映をし、名称決定を進めさせていただきます。

【公募名称について】

再整備事業におきまして、法人が運営を予定している施設・事業所は以下となります。

- ・障害者支援A施設(自閉症対応型施設)
- ・障害者支援B施設(高齢者対応型施設)

今回の公募対象名称は、来年度運営開始予定である障害者支援施設のAおよびB施設の2つの名称となります。

今回の公募対象外事業所の名称につきましては、別途、公募させていただきます。

【新名称決定までの流れ】

新名称を公募（期間：平成22年2月1日～平成22年2月28日）
新名称選定委員会にて協議
法人理事会にて最終決定（平成22年3月）

決定後、結果は法人ホームページにおいて発表させていただきます。

【醍醐和光寮再整備について】

醍醐和光寮は、障害のある方、障害のある児童の施設として、先導的・先駆的な役割を果たしてきましたが、築40年を迎え、建物の老朽化が著しく、建替え再整備を行うこととなりました。

その中で、施設機能の再整備や充実に合わせて、再整備・運営を行う社会福祉法人を公募により選定する方針が示され、平成19年12月には、「京都市醍醐和光寮再整備に関する事業実施法人選定委員会」が設置されました。

当選定委員会により、「社会福祉法人 南山城学園」が実施法人として選定され、現在、再整備事業に邁進している状況です。

【障害者支援A・B施設(仮称) 共通コンセプト】

- ・利用者一人ひとりの障害程度や年齢、生活リズム等に即した支援を推進します。
- ・プライバシーに配慮した個室を基本に、小規模な生活単位に基づいた支援(ユニットケア)を充実させ、「生活をともにするケア」を実践します。
- ・日中活動の場と住まいの場を分離し、日々によりがちな充実感を感じることのできる活動プログラムを設定するとともに、「普通の暮らし」のあり方を追求します。
- ・地域との交流を深め、地域社会とのつながりを重視しながら、自立支援と社会活動への参画を推進します。
- ・現和光寮利用者の新施設への円滑な移行と丁寧な引継ぎに努め、これまでの暮らしの連続性に留意した支援を行います。

【障害者支援施設A(仮称) コンセプト】 自閉症対応型施設

集団活動に馴染みにくい方や、日常生活上のきめ細やかな心理的・精神的ケアを必要とする方のための施設です。個別支援計画と少人数での生活単位(ユニット)に基づき、利用者の健康的で豊かな暮らしの実現を目指します。地域との交流を大切にしながら、障害特性や心身の特性に配慮した暮らしの支援と、利用者個々の強みや長所に着目した日中活動支援を行い、安定した生活リズムの確立に努めます。

【障害者支援施設B(仮称) コンセプト】 高齢者対応型施設

高齢期にある方、介護ニーズや医療的ケアが重視される方をはじめ、心身機能の低下が見られる方でも、出来る限り現在の生活が継続できるようにします。また、介護が必要になられても、施設機能の限度の中で、可能な限り支援を行います。
趣味や余暇活動などを充実させ、個々の時間を大切にすることで、ゆったりとした安らぎのある生活を職員とともに過ごしていただきます。
地域で暮らしておられた方に対して、施設の支援を通じて生活面の安定を図り、働くことのサポートをします。